

2021 年 (令和 3 年) 9 月 29 日 (水) NO 162 号

K-PURO NEWS

【 事 業 所 】

◆	商 号	株式会社 ケイプロ	https://k-puro.co.jp
◆	屋 号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本 社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【 業 務 内 容 】



機械警備	弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効適切な位置へ設置
メンテナンス	消防設備点検・工事から AED 幹旋のメンテナンス業務

【 加 盟 団 体 】

	RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://kawaguchi-morning.jp/
	NPO 法人	さいたま起業家協議会	https://saitama-kk.org/
	公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
	一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
	公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.morality.jp/

【 応 援 団 体 企 業 】



今月の言葉

求める側より与える側



誰かの喜びや、世の中が明るくなっていくことにつながる「何か」。

身の回りを見つめて、今の自分にできることがないか、探してみましよう。

道端に落ちているゴミを拾うこと。

狭い道を通るとき、前から来た人に「お先にどうぞ」と譲る

こと。人のやりたがらない仕事を引き受けること・・・。

まずは「小さなこと」でよいのです。

人や社会がよりよくなっていくことに対して、身近なところから自分にできる限りの力を尽くし、「求める側」よりは「与える側」に立つ努力をしていきませんか。

今月の良い話

進むのは簡単だが、退くのは難しい

永禄12年秋9月、甲府の館では北条家の小田原城を攻める軍評定が開かれていた。

信玄は当年四十九歳、百戦錬磨の功を積んで思慮も最も円熟していた。

信玄の考えでは、南に下って駿河に出ようとすると小田原の北条氏政がこれを妨げるから、逆に駿河に出ないで、啄木（たくぼく）の戦法によって小田原城を叩こうという計画だった。家来たちはみんな一生懸命に、進軍の道筋と日程を論じている。

.....



信玄は一人黙然として考えていた。

家来の一人が「殿様がいかがお考えか、お伺い申し上げます」といって、信玄は「お前たちがいいように計らえばよい」と答えた。

そういう信玄が手元に広げている地図を見ると、赤い線があちこちに引かれている。それを見て家来は訪ねた。

「その道から討って出る思し召しですか」すると信玄は、頭を振ってこう答えた。

「いや、これは引き揚げる道だ」それを聞いて大將たちは仰天した。

勇ましい進軍の門出に、退却の道を考えるのはなんたる不吉なことであろうか。

我々は勝って北条氏をほうむる覚悟である。破れて引き揚げようとは思っていない。

.....

そこで、大將たちは口々にいった。

「それはご無用のことです。凱旋（がいせん）するときにはどの道でも自由に通行できますから、今そのようなご検討をする必要はありません」

信玄は笑った。

「そうかも知れぬ。そうでないかも知れぬ。お前たちは進むことを考える。それゆえに私は退くことを考えるのだ。進むことは容易だが、退くのは難しいものだぞ。人間というものは、どのように生きようかということよりも、どのように死のうかということを考えなければならぬ。どのように進もうかということよりも、どのように退こうかということを考えるほうが大事なのだ」

.....

そのようなわけで、信玄は小田原城を囲んだが、もう一揉みと逸る家来たちを抑えて、さっさと予定の退路を引き揚げた。すると、物を知らない北条方はすわとばかりに追撃してきて、三増峠の合戦でこてんぱんに信玄に打ち破られた。信玄は崩れ立つ敵勢を尻目に見て、山を下って悠々と甲府に引き揚げたのである。信玄のこの言葉は事業などにも当てはまるだろう。事業も拡大するのは易しいが、引き揚げるのは難しいものである。

////////////////////////////////////

故 渡部 昇一（上智大学名誉教授）

記事提供 致知出版社

今月の良い話

楽しいアウトドアコーチング



最近、アウトドアコーチングをすることが増えています。
例えば、経営者の方々を対象にしたゴルフ。ゴルフを教えるのではなく、
ゴルフをしながら自らの内面と向き合ってもらおうというものです。
ゴルフをしている間、「天気が悪い」「調子が悪い」「フェアウェイが狭い」
などずっと否定的なことばかり口にしていてる人がいます。
こういう人は会社経営でも「コロナが悪い」と言っているはずですが。

逆にボールが林の中に入っても「あそこからどうやってパーを取ろうかな」と、ワクワクしながらボールに駆け寄る人もいます。私もそうです。

そんなとき私はこう話します。

「林にボールが入ったという事実は変えられないけれど、それに対してどう考え、行動するかは自分で選べます。『もう嫌だ。天気も悪くて調子が上がらないな』と不平を言いながら林に入っていく社長を、社員が後ろから見ていたらどう思うでしょう」。

.....

スポーツをしていると素の自分が出るものです。

ゴルフと経営は別物ではありません。

普段、会社で口にしていてる言葉や振る舞いが、ゴルフのプレー中に必ず出ます。

そうした自身の言葉を客観視することはとても大切です。

人は面と向かって忠告されると反発しがちですが、別のことを媒介にすると、素直に受け入れられるもの。

いってみれば、ゴルフを通じたカウンセリングです。

.....

キャンプもアウトドアコーチング、特にチームビルディングに効果的です。どうすればキャンプが成功するか。
共通のゴールに向けて、メンバー間で話し合って役割分担してもらいます。

「私は料理が得意だから任せて」「力仕事は僕がやるよ」。

そして準備が整うと、私からこんな言葉を投げかけます。

「皆さんはキャンプを成功させるために、自分の強みを自発的に生かしました。これが本当のチームワークです。会社ではどうでしょう。『仕事をやらされている』という気持ちになっているなら、それはなぜなのでしょう」

会議室では議論が盛り上がりえないチームでも、屋外で炎を前にすると面白いように本音が出ます。キャンプファイヤーのいいところです。



.....

私は今後研修のあり方が変わって見えています。

これまでは何かを学ぶというスタンスの研修が多かったと思いますが、これからは受講する人たちが講師の後押しで、何かをつくり上げていくスタイルが主流になるでしょう。

例えば新型コロナ禍は私たちにとって初めての経験であり、誰も明解な答えは持っていません。経験したことがないこうした変化に必要なのは、答えを学ぶ力ではなく、答えをつくり出す力なのです。

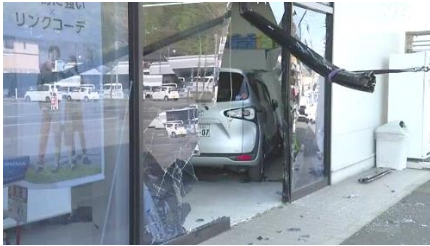
////////////////////////////////////

白井 一幸（元日ハム二軍監督・一軍ヘッドコーチ）

記事提供 日経トップリーダー

事件ファイル NO162

高齢ドライバーから我が身を守る



先日、犬の散歩の途中にコンビニの駐車場にいた時のこと。黒い軽自動車が増車するために入ってきましたが、輪留めの縁石に勢いよくぶつかり停まりました。車は斜めだったため切り返しを3回程行いましたが、結局斜めのまま停車。

諦めたのか高齢男性の運転手と奥さんと思われる方が降りてきました。

降りてきた運転手は、腰が曲がった痩せ細った老人で、左目には眼帯をし、よぼよぼとそのまま店内に入っていました。

車の左側面は、壁にこすったようで擦り傷だらけ・・・。この方が近いうち、大きな事故を起こし被害に遭われる方がでないことを祈るばかりです。

私たちは、このような運転手から自ら身を守らねばなりません。

高齢者による事故がよく起きている場所は、コンビニ・ドラッグストア・スーパーマーケット・クリニック・整骨院等、お店の前に駐車場があるところやコインパーキングの出口。

事故をよく起こしている車は、軽自動車やプリウスが目立つ。（総体数も多いので）

事故を起こした原因は、アクセルとブレーキの踏み間違いがほとんど。

このような事故がよく起きている場所に行かれた時に、車の運転手が高齢者と確認できた場合は、巻き込まれないよう自ら注意を払い、決して近づかないようにして下さい。

自分の身は自分で守るしかないようです。

また自身の車を停める際も、高齢者の運転する車や傷だらけの車の隣はぶつけられないよう、なるべく避けられた方がいいでしょう。くわばら、くわばら・・・。

プロ太の小話集

NO162

『理想』

女「ねえ、私ってあなたの理想通り？」

男「理想よりはるかに上だよ」

女「どれくらい？」

男「30キロくらい」



//////////
今月の表紙の花 ：ポーチュラカ「いつも元気」

コロナ禍の中の緊急事態宣言により、お酒も飲みにも行けず、ストレスは溜まる一方ではないでしょうか。（もう少しの我慢？）そこで、少しでも気晴らしになればと、昨年の12月から20階の階段をほぼ毎日欠かさず上っています。オリンピックに感化されてからは、朝夕に腕立て伏せ・腹筋・ダンベルを決めた回数を行っています。最低週1回はプールで1,000m以上泳ぎ、日曜日はジョギングの途中に和楽備神社へ今週の報告に伺います。アスリートの方々と比べれば些細ことですが、これらを積み重ねると1年後は大きな成果につながる気がします。どんなお金持ちでも一番欲しいものは健康ではないでしょうか。

いつまでも元気でいられるよう、小さな努力をたゆまず粛々に行っていこうと思います。

注：プロ太とは、写真のK-PURO 番犬です （体長10メートル・体重1トン・無敵無敗）